

相談部会 令和3年度 部会状況把握表				
活動理念	誰もが自分らしく暮らせる街をつくる。			
活動目標	事例や課題検討を通じて相談員のアセスメント力や相談支援スキルを向上させる。サービス提供事業所との顔の見える関係をつくる。			
①	取り組み計画 (PLAN)			
	事例や課題検討を通じて相談員のアセスメント力や相談支援スキルを向上させる。			
	実行実績 (DO)	評価 (CHECK)		
第1四半期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・部長と副部長の選任 ・障がい福祉課より(報酬改定に伴う申請手続きについて等) ・令和3年度計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ・部長と副部長を選任することができた。 ・報酬改定に伴う変更内容、申請手続き等について確認することができた。 ・令和3年度計画について、開催頻度・実施内容等確認することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例や課題検討にあげるテーマについて、支援に苦慮したケースをあげていく。 ・主任相談支援専門員による模擬課題の事例検討会を実施し、ファシリテータ力を学ぶ。
	5月			
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人えんによる相談支援事業の開始について ・維雅幸育会による新事業「KOUIKU ACADEMY」について ・障がい福祉課より(伊賀圏域事業所情報等) ・模擬課題の事例検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所が増え、相談部会への参加を確認できた。 ・主任相談支援専門員による模擬課題の事例検討を通して、ファシリテータ力や柔軟な思考力を学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、部会員が事例発表とファシリテータを担う。 ・65歳到達時の介護移行についての課題検討を行っていく。
第2四半期	7月			
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止。障がい福祉課より、連絡事項を適時、相談支援専門員へ提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務において、相談支援専門員と情報共有は継続できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を行った相談部会の開催方法について検討する。
	9月			
上半期総評	達成率	50%		
第3四半期	10月			
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・就労部会事業所連絡会WGより伊賀マルシェ開催の案内について ・介護移行について① 好事例、課題等の抽出ワークを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく移行できたこと、または改善が必要なこと等を模造紙に書き出し、課題を共有できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護移行時の課題検討を行うにあたり、高齢者支援の担当部署との協議の場を設定する。
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護移行について② 地域包括支援センター(主任CM、社会福祉士)との協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じた支援体制が構築できるよう、介護移行時の連携について検討ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のケースに応じた障がい支援と介護支援を柔軟に検討する場を構築していく必要がある。 ・対象ケースがある場合、障がい者相談支援センターか障がい福祉課が窓口となり、関係者の協議の場を設定していく。
第4四半期	1月			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護移行について③(オンライン開催) 事例報告を通して検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに介護移行を実施できなかった事例の振り返りを実施したことで、介護移行の支援時に生じる共通課題の確認や今後の支援の手がかりを共有することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護移行を検討する際は、適切に見立て、必要な支援を検討できるよう、支援スキルの向上および関係者間の関係構築を行っていく。 ・介護移行フロー図を見直していく。
	3月			
下半期総評	達成率	80%	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、不定期開催となった。しかし、65歳到達時の介護移行の課題について、好事例の共有や課題の抽出を行い、地域包括支援センターとの協議の場を設定したことで、障がい福祉と高齢者福祉の関係者間で個別ケースに応じた支援を検討する場を設定し、連携体制を構築していくことを確認できた。	

くらし部会 【ヘルパー人材育成WG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	各関係機関の連携より、居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする。			
活動目標	事業所間の相互援助体制の構築			
①	取り組み計画(PLAN)			
	・新システム「さがけシステム」の土台をもとにした課題の抽出			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1四半期	4月			
	5月			
	6月	6/10 第1回WG(R2年度メンバー中心) ・WG長、副WG長の選任 ・令和3年度活動計画について 目標設定、方向性の協議	・WG長、副WG長を選任することができた。 ・令和3年度の活動の目標や方向性を確認することができた。	・コロナ禍の状況を踏まえ、多くの人を集める活動は控え、WGメンバーのみでできる活動を中心に計画した。
第2四半期	7月			
	8月	8/18 第2回WG(中止) ・これまでの取り組みを再確認し、課題を抽出する会議を予定していたが、コロナにより中止。	・協議予定であった事項の資料と補足説明をメールにて送付。「さがけシステム」構築の概要について周知できた。 ・「さがけシステム」構築の課題について意見を募り、1件ご意見をいただいた。	・いただいた意見に対し、次回会議に向け情報収集を行った。
	9月			
総評 上半期	達成率 20%	人事異動等によるWGメンバーの交代が多かったため、目標の再確認や共通認識が必要であった。いただいた意見に対して議論する機会がなく、一方通行の活動になってしまった。		
第3四半期	10月	10/29 県担当者WGコアメンバー会議 ・現行制度でできること、できないこと ・契約締結上の課題	・県担当者とりもてて意見交換を行った。 ・課題が整理され、今後の方向性についての提案をいただいた。	・基準省令上、契約締結上、難しいとされた点について、他の方法の検討を行う。
	11月	11/12 第2回WG ・ヘルパー人材育成WGの位置づけ、活動内容について ・事業所間の相互援助体制(通称:さがけシステム)について ・県担当者との事前協議について	・WGの活動内容及び県担当者との事前協議の内容を共有した。 ・ヘルパー支援や契約締結上の問題点について意見交換を行った。	・次回、各事業所の資料を持ち寄り、コンプライアンスに則った契約について検討する。 ・他の情報ツールを用いて、効率のよいヘルパー派遣を考える。
	12月			
第4四半期	1月			
	2月	2/16 第3回WG(コアメンバー) ・令和3年度活動実績(見込)について ・令和4年度事業計画(案)について	・令和3年度活動実績(見込)及び令和4年度事業計画(案)について協議を行った。	・コロナ禍の現状を踏まえ、WGメンバー中心の活動を行う。 ・令和4年度は、コロナの状況を見ながら、研修会を開催する。
	3月	(第4回WG)		
総評 下半期	達成率 60%	県担当者との事前協議で課題が整理できた。包括契約に代わる効率的なヘルパー派遣の方法について、十分な協議ができなかった。		
総評 年度	達成率 70%	コロナ禍でスケジュールがずれ、ヘルパー事業所や特定相談事業所のヒアリングが実施できなかった。さらに情報収集と協議を重ね、システム案を形にしたい。		

くらし部会 【ヘルパー人材育成WG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	各関係機関の連携より、居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする。			
活動目標	コンプライアンスを含めたサービス水準の向上			
② 取り組み計画 (PLAN)				
・居宅介護スキルアップ研修 ・コンプライアンス研修				
		実行実績 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)
第1 四半期	4月			
	5月			
	6月			
第2 四半期	7月			
	8月			
	9月			
総評 上半期	達成率			
	0%			
第3 四半期	10月			
	11月	11/12 第2回WG ・コロナ終息の状況が不透明なため、令和3年度の研修の中止を決定。	新型コロナの感染が懸念されるため、年度中の開催は難しいと判断した。	来年度以降の開催に向け、テーマや方法を検討する。
	12月			
第4 四半期	1月			
	2月			
	3月			
総評 下半期	達成率			
	0%			
総評 年度	達成率			コロナ禍ではあるが、同業種の従事者が相談・情報交換できる機会が必要であるため、開催に向けて方法の検討等を行いたい。
	0%			

くらし部会【精神障がい地域包括ケアシステムWG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	精神障がい者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしができる医療・障害福祉、介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す。			
活動目標	多職種で構成されるWGメンバーにより、日常生活圏域における課題を整理して、本会議に地域ケアシステム構築に向けての提言を行う。			
	取り組み計画 (PLAN)			
	【①5月～8月計画】 ①「住まい」に関するアンケート結果の分析 【②9月～10月計画】 ②調査結果のまとめと今後の課題の検討 【③11月～3月計画】 ③課題に対するアプローチ方法の検討			
	実行実績 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)	
第1 四半期	4月			
	5月			
	6月	6/10 くらし部会第1回全体会議・WG会議	「住まい」に関するアンケート調査の結果についての報告を行う。	回答者の基本特性に基づく集計結果を共有した。その内容に協議を行い、課題の抽出と整理を行って対応策を検討する。
第2 四半期	7月			
	8月	8/10 WG会議	アンケート集計結果の内容を確認し、現状やニーズの把握を行うとともに、課題の抽出と整理を行う。	就労支援や家族との関係構築が必要であり、退居可能なケースを共通認識として持つことが支援に有効と結果を整理しました。
	9月		WG会議が感染症拡大のため中止となる	
上半期 総評	達成率		集計結果についてWG会議や資料配布等で分析を行い、課題を抽出できた。WG会議が感染症拡大のため中止となったため計画が遅延気味であった。	
	90%			
第3 四半期	10月			
	11月			
	12月	12/21 WG会議	感染症被害拡大の影響で会議開催時期の遅延があった。抽出された課題の対応策について具体的に協議する。	課題として就労支援等が複数挙げられる。GHからの移行支援を行うケースを複数年観察研究することを通して、対応策とモデルケースとしての確立を見込むことができる。
第4 四半期	1月			
	2月	2/8 WGコア会議	GHからの移行支援ケースの把握と整理	観察対象とするケースを抽出し、個別に状況と課題を整理した。
	3月			
下半期 総評	達成率		集計結果についてWG会議で抽出された地域課題に対して具体的ケースを通して課題の検証と対応策について検討する予定であったが、感染症拡大の影響から計画が遅延気味であった。	
	80%			

就労部会 【雇用啓発 WG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ（雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場等）の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	福祉から就労に向けた計画的推進と障害者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
①	取り組み計画（PLAN）			
	他機関主催イベントへの参画			
	実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）	
第1 四半 期	4月			
	5月			
	6月	6/24 WG会議 今年度活動計画の確認	新型コロナ感染拡大状況により開催方法変更の可能性あり	
第2 四半 期	7月			
	8月	8/16 WG会議 就職面接会開催方法変更について共有 （日、時間帯を分けて分散）		
	9月	9/17 WG会議 就職面接会へのWGメンバー参加可能日 確認		
総 評 期	上半期	達成率 100% 面接会開催に向けた調整 企業説明会の予定確認	下半期の面接会開催に向けた調整・確認を行った。	
第3 四半 期	10月	障がい者就職ミニ面接会（14社） 会場：ハローワーク伊賀2階会議室 開催：10月～11月（5日間） ※毎年開催の集団面接会を前年度同様に 縮小実施	面接会参加者39人（採用決定者数12人） 地域別：伊賀市17人、名張市19人、奈良県3人 障がい種別：身体13人、知的3人、精神23人	昨年同様、感染症対策として集団面接会を縮小（分散型）して開催され、昨年より参加者は減りましたが（R2：56人）、採用決定者が12人（R2：11人）であり、採用率向上の結果となりました。次年度も部会活動の一つとして主催者とともに、継続して取り組みを進めます。
	11月	WG：受付、誘導、除菌作業等		
	12月			
第4 四半 期	1月	1/13 WG会議 就職面接会実績報告（上段参照） 障がい者のための企業説明会について	新型コロナ感染拡大状況により開催方法変更の可能性あり	
	2月	障がい者のための企業説明会（予定） 会場：ハローワーク伊賀2階会議室 開催：2月～3月（4日間） WG：受付、誘導、除菌作業等		
	3月	3/ WG会議（予定）		
総 評 期	下半期	達成率 50% 面接会・企業説明会に協力	面接会において受付、誘導、除菌作業等を実施した。 ※企業説明会は今後実施予定。	
総 評 度	年 度	達成率	伊賀公共職業安定所、三重労働局が主催する事業に、WG（共催）として協力することができた。	
		75%	※企業説明会は今後実施予定。	

就労部会 【雇用啓発 WG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ（雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場等）の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	福祉から就労に向けた計画的推進と障害者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
②	取り組み計画（PLAN）			
	企業訪問の実施（就労定着、雇用啓発の支援で実施）			
	実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）	
第1 四半期	4月			
	5月			
	6月	6/24 WG会議 今年度活動計画の確認 訪問対象企業について協議	企業側から訪問を控えて欲しいとの声あり。	対象企業・訪問時期を要検討。
第2 四半期	7月			
	8月	8/16 WG会議		
	9月	9/17 WG会議 企業訪問（対象企業、聞き取り内容、訪問次期）の詳細検討	過去2年間訪問している企業を除き17社選定（3班体制で訪問）。 聞き取り内容は昨年を参考にする。	企業情報を求人票から把握しておく。
総 評 期	上 半 期	達成率 100% 企業訪問に向けた協議	下半期の訪問に向けて、対象企業、聞き取り内容、訪問時期の調整・確認を実施。	
第3 四半期	10月	企業訪問各班長による企業との日程調整		
	11月	各班による企業訪問 （15社実施）※2社調整中	企業訪問カードにより障がい者の職務内容、雇用ニーズ、雇用における課題等の聞き取り。	障がい者雇用助成制度の周知により、企業側の興味を引くことができた。 求人はしていなくても、求職者情報の提供をはじめとする適切な支援の提供により雇用を検討する余地があることがわかった。 訪問で得た情報の活かし方の検討が必要。
	12月			
第4 四半期	1月	1/13 WG会議		
	2月			
	3月	3/ WG会議（予定） 企業訪問実施結果報告	訪問実施結果から、来年度に向けた実施内容の検討。訪問で得た情報の活用方法について検討。	
総 評 期	下 半 期	達成率 70% 企業訪問 訪問結果共有、次年度に向けた協議	企業訪問により聞き取り、障がい者雇用助成制度の周知を行った。 予定していた企業訪問が一部できなかった。 訪問実施結果報告による情報共有、来年度に向けた協議ができていない。	
総 評 度	年 度	達成率 75%	企業の雇用実態、雇用ニーズや課題を聞き取ることができた。今後、訪問で得た情報の活かし方を検討していく必要がある。訪問結果の共有、協議が未実施。	

就労部会 【雇用啓発 WG】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ（雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場等）の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	福祉から就労に向けた計画的推進と障害者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
③	取り組み計画（PLAN）			
	企業向け研修会の開催企画			
	実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）	
第1 四半 期	4月			
	5月			
	6月	6/24 WG会議 今年度活動計画の確認 講師候補・手法の検討	講師によっては、コロナの影響による中止や延期等の日程調整が難しい。	伊賀市人権学習企業等連絡協議会において何らかの形で研修ができないか検討。
第2 四半 期	7月	7/7 伊賀市人権学習企業等連絡会理事会に研修企画書（案）を提案、承認	年度内に予定されている採用担当者セミナー終了後、WGメンバーにより支援機関等の情報提供の方向で検討していく。	企業側の聞きたい内容・情報を確認し、情報提供の内容を考える。
	8月	8/16 WG会議 9月中旬以降に予定されている採用担当者セミナー終了後に情報提供	次回WGまでに各支援機関ごとに研修用資料を用意する。	
	9月	9/17 WG会議 緊急事態宣言により採用担当者セミナー開催が延期されたことを共有	開催日は未定であるが、今後開催されることを想定し、準備をすすめる。	対面型研修が開催できなければ、リモート型研修を提案してみる。
総 評 期	上半 期	達成率 25%	研修内容・方法の協議 研修の実施	伊賀市人権学習企業等連絡会で研修ができるよう、理事会に提案、承認された。 予定していた担当者セミナーが新型コロナウイルスの影響で延期となった。
第3 四半 期	10月			
	11月			
	12月	採用担当者セミナーが中止となったため、WGメンバーで他の研修開催についてアンケート実施	アンケート結果を踏まえ、次回WGで今後の方向性を協議する。	
第4 四半 期	1月	1/13WG会議 アンケート結果：実施3、未実施3 今年度、研修は行わないことを決定	次年度は、ハローワークが実施する研修（精神発達障がい者仕事サポーター養成講座）と圏域の障がい者雇用をしている企業に講師を依頼する方向で検討していく。	企業の興味や聞きたいことを確認するアンケートの実施を検討していく。
	2月			
	3月	3/ WG会議（予定） アンケート案の協議 次年度研修内容の確認		
総 評 期	下半 期	達成率 25%	研修の実施	予定していた採用担当者セミナーが実施されなかったため、研修（情報提供）は開催できませんでした。
総 評 度	年 度	達成率 40%		研修は開催できませんでしたが、アンケートの実施や次年度開催に向けた研修内容の協議を続けていきます。

就労部会 【 事業所連絡会WG 】				
令和3年度 部会WG状況把握表				
活動理念	福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を考察し実現する。 障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。			
活動目標	事業所間コミュニケーションを図り、ネットワークを構築する。 仕事の共同受注についての仕組みを作る。就労継続支援B型事業所の在り方を検討する。			
①	取り組み計画（PLAN）			
	事業所連絡会の活性化について			
		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1 四半 期	4月			
	5月			
	6月			
第2 四半 期	7月	7/15WG 昨年度実施できなかった事業所訪問第4期分7ヶ所、第2期分1ヶ所の訪問について各担当の割り振りを確認した。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、10月に開始した。	終了後、訪問内容のまとめや意見等の集約とフィードバックなどについて検討が必要。 次年度の第1回WGについては、第1四半期に実施する。
	8月			
	9月			
総 評 価	上半 期	達成率 30%	昨年度実施できなかった事業所訪問第4期分7ヶ所、第2期分1ヶ所の訪問について各担当の割り振りを行った。	
第3 四半 期	10月	事業所訪問第4期分7ヶ所の訪問実施	事業所訪問調査については年度内に整理する。	フィードバックは次年度に実施予定。
	11月			次年度の事業所訪問については、交流を目的とする事業所間の訪問を計画する。
	12月	販売会(マルシェ)の実施 …伊賀市12/2	6事業所（伊賀管内）が参加。 障害者週間のプレイベントとして開催。 マルシェ売上：232,820円 販売者数：369人	両市で開催する場合の開催時期、開催場所（屋内、屋外）、準備する商品の個数等の検討が必要。
第4 四半 期	1月			
	2月			
	3月	販売会(マルシェ)の実施予定 …名張市3/3or3/10 事業所訪問調査の総括	名張市障害者アグリ推進雇用協議会が主催する既存の販売会へ参加案内を行った。 既に参加予定の事業所に加え1事業所の申し込みあり。	参加申し込みが少なく、実施時期と新型コロナウイルス感染拡大が重なってしまった。 3月中の開催も様子を見る必要があり、当初予定していた時期に開催できなかったことが反省点。
総 評 価	下半 期	達成率 70%	事業所訪問調査のフィードバックについては、次年度に実施する。 次年度のマルシェの開催については、伊賀市・名張市合同開催を検討。 次年度の第1回WGについては、第1四半期に実施する。	
総 評 価	年 度	達成率	WGメンバーの選考基準が不明瞭であるため、選考基準を明確にし、2年任期、毎年半数ずつメンバーを入れ替える等の検討をする。	

就労部会 【 事業所連絡会WG 】			
令和3年度 部会WG 状況把握表			
活動理念	福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を考察し実現する。 障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。		
活動目標	事業所間コミュニケーションを図り、ネットワークを構築する。 仕事の共同受注についての仕組みを作る。就労継続支援B型事業所の在り方を検討する。		
取り組み計画 (PLAN)			
② 事業所連絡会の開催について			
	実行実績 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)
第1四半期	4月		
	5月		
	6月		
第2四半期	7月	7/15WG 昨年度より計画していた報酬改定研修(リモート)の実施について確認。 研修チームを結成。	研修チームにて、各事業所で実施している研修を他の事業所が参加する等、福祉サービス事業所として必須の研修を合同開催する等の検討を図る。
	8月		
	9月		
総評 上半期	達成率 30%	下半期に行う報酬改定研修及び研修会検討会議の日程調整を行った。	
第3四半期	10月	事業所連絡会 オンライン研修準備	
	11月	研修チーム会議(11/21)	令和4年度より福祉サービス全事業所の運営基準に「虐待防止委員会」の設置が義務づけられることから、虐待防止の取り組みに送る研修会を開催する。
	12月	オンライン研修会を実施(12/20) 講師：維雅幸育会 松村、菊田 名張育成会 多原 …報酬改定後の取り組みについて	19団体50名が参加。
第4四半期	1月	事業所連絡会 オンライン研修準備	14団体約30名が参加予定。
	2月	オンライン研修会を実施予定(2/21) 講師：昂会 橋本 名張育成会 内田 名張市 池上 …障害者虐待防止の取り組みについて	
	3月		
総評 下半期	達成率 100%	今年度と同様のリモート研修会は今後も継続して行う。 事業所間の連携を図れるように、事業所間での訪問等を検討する。	
総評 年度	達成率		

就労部会 【 事業所連絡会WG 】			
令和3年度 部会WG 状況把握表			
活動理念	福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を考察し実現する。 障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。		
活動目標	事業所間コミュニケーションを図り、ネットワークを構築する。 仕事の共同受注についての仕組みを作る。就労継続支援B型事業所の在り方を検討する。		
取り組み計画（PLAN）			
③・④	③事業所MLの運営について ④三重国体の取り組みについて		
⑤・⑥	⑤事業所現況報告書の活用について ⑥事業所ガイドブックについて		
	実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1 四半 期	4月		
	5月		
	6月		
第2 四半 期	7月	7/15WG ⑥事業所ガイドブックチームを結成。	③情報共有を目的に使用。
	8月		
	9月	④三重国体の中止	④物販等を行う計画を立てていたが、国体中止により実施できず。
総 評 期	上半期	達成率 30%	
第3 四半 期	10月	⑤事業所現況報告（上半期）集約	
	11月	⑥事業所ガイドブック検チーム会議(11/8) ③ML運用(研修案内、伊賀市マルシェ開催案内に使用)	現状のガイドブックの改訂版として、手に取りやすく分かりやすいものを目指す。ガイドブックのアクセスを容易にするため、別紙カードを作成（QRコード掲載）
	12月		相談窓口で使用できるものを作成するため、情報提供項目について精査する必要がある。
第4 四半 期	1月	③MLにて、研修会等の情報提供	③MLに、研修会等の案内を行うことができた。
	2月		③より良い活用方法について今後も継続的に検討していく。
	3月	⑤事業所現況報告書（下半期）集約 ⑥事業所ガイドブックの新デザインを決定、更新準備。	
総 評 期	下半期	達成率 100%	MLの運用の積極的活用を目指したい。 ガイドブックの作成については、次年度5月を目途に更新予定。
総 評 度	年度	達成率	